

2018年12月12日
株式会社リパック

シュレッダー作業時間を大幅にカットできる 新しいサービスを提供開始

～『3分46秒』の新しい時間が生まれる機密文書廃棄～

株式会社リパック（本社：東京都文京区、代表取締役社長：市川 諭）は、2018年9月よりシュレッダー作業にかかる時間を大幅に削減できる機密文書処理の新しいサービス（ピコリコボックス）の提供を開始しました。

利用者は、シュレッダー作業をピコリコボックス（鍵付き設置交換型ボックス）へ書類を投函に置き換えるだけで、一回の処理作業ごとに3分46秒（※）の新しい時間を創出することが可能となります。

※200枚程度の紙処理にかかる作業時間の比較テストを実施。書類仕分け作業（※1）から一時廃棄（※2）までに要する時間を計測し、シュレッダー処理では4分10秒、ピコリコボックスでは24秒と大きな差異を確認しました。（当社比）
ピコリコボックスにするだけで、利用者に新しい時間が生まれワークスタイルの変化が期待できるようになります。

比較動画：<https://youtu.be/xo2WzIOTucw>

現代は、ハイセキュリティな情報処理の仕組みや業務の効率化を再確認する必要に迫られています。その理由として、2017年の「個人情報保護法」の改定や、「働き方改革」などが挙げられます。大企業に限らず中小企業や個人事業に至るまで、機密情報管理とコアビジネスに集中する取り組みへの意識が求められ、さらに、環境リサイクルに対する取り組みなど、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）への期待も高まっています。このような社会的な要望に応えるために、シュレッダーに代わる「ハイセキュリティ&エコロジー」の新しいサービス『ピコリコボックス』を開発しました。ピコリコボックスで、機密文書処理の時間を大幅に削減し、格段に仕事の効率化を図ることが可能となります。



3分46秒（※）の新しい時間を創出

ハイセキュリティ機密文書廃棄『ピコリコボックス』

仕分け作業（※1）から一時廃棄（※2）までに要する時間の削減を追求したサービスです。

- ・紙ファイルの仕分けやクリップ、ホチキスの芯取り不要 ※作業時間を削減
- ・ピコリコボックスへ機密文書を投函するだけ ※最高レベルの機密性
- ・3分46秒の新しい時間を創出 ※“手間いらず”で時間を有効活用
- ・環境リサイクルに、より貢献 ※リサイクル原料100%再利用

「ハイセキュリティ&エコロジー」サービスを提供するために、日本で初めて“カスタマイズ”された機密文書処理専用溶解設備（※3）を考案し本格稼働いたしました。最大の特徴は、自社で溶解設備を保有し機密文書処理専用カスタマイズしたことです。これにより、利用者の「機密情報・個人情報」の回収から溶解処理（復元不可能・情報抹消）まで、完全機密扱いのまま、1社のみで完結することができます。2017年の時点でも機密情報漏洩の38.9%（※4）が紙媒体からといった現状が存在します。情報漏洩の原因のひとつとなる第三者介入リスクを防止、情報漏洩防止対策（※5）と合わせ、セキュリティレベルを最大限に高め、お客様に「簡単」「安心」「確実」「リサイクル」を提供し続けます。

- ※1 書類仕分け作業：書類を紙ファイルから取り外す、書類のクリップ・ホチキスの芯取りなど
- ※2 一時廃棄：最終処理段階へ機密文書を運搬する前に、オフィス内で廃棄処理した状態
シュレッダーは裁断された状態、ピコリコボックスは投函された状態
- ※3 日本初（当社調べ）の機密文書処理専用カスタマイズした溶解設備を2018年7月より稼働（静岡県富士市）
- ※4 引用：2017年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書【速報版】
日本ネットワークセキュリティ協会 セキュリティ被害調査ワーキンググループ
- ※5 回収：鍵付きボックス交換型、ボックスは溶解処理直前まで未開封、鍵を特定の場所に厳重保管など
運搬：機密専用車両（GPS、盗難防止装置を搭載）、24時間監視・録画のセーフティルーム（保管庫）、
機密専用車両は当社溶解工場へノンストップ運搬（東京→静岡）など
処理：24時間監視・録画の溶解施設、機密専用投下マシンにより人の手に触れずに投下、遠隔地で作業の
ライブ確認が可能など
作業員：当社認定専門スタッフ（社員）のみですべての作業を実施

[株式会社リパック概要]

株式会社リパックの使命は、紙媒体からの情報漏洩の防止・完璧な処理・リサイクルの徹底により、人と地球のさらなるエコロジーに貢献することです。「High Security & Ecology」企業活動により、強固な機密性と環境配慮を実現し、未来に環境負荷を残さない、資源循環型社会に貢献し続けます。

[会社概要]

- 会社名 : 株式会社リパック
- 所在地 : 〒112-0001 東京都文京区白山4-30-12
- 代表者 : 代表取締役社長 市川 諭
- 営業種目 : 機密文書廃棄サービス（法人向け・個人向け）／機密データ破壊・消去サービス／
オフィス什器廃棄・買取サービス／紙コップリサイクルサービス など

[問い合わせ先]

- 会社名 : 株式会社リパック 電話番号 : 03-5805-1315
- 担当者 : 佐山 武生・櫻井 雅義 携帯電話 : 080-3785-4663
- E-mail : press.release@repack.co.jp URL : <http://www.repack.co.jp/>

[機密文書処理専用パルパーの特徴]

- ・作業効率を上げるためパルパー投入口を床レベルに設置
- ・機密文書を人の手に触れることなくパルパーへ投下するための機密専用投下マシンの開発
- ・機密文書をベルトコンベア不使用でパルパーへの投下が可能
- ・紙媒体の飛散防止および安全対策としてパルパー投入口へ鉄格子柵の設置



日本で初めて（当社調べ）の試みとなるカスタマイズされた機密文書処理専用パルパーは、一般的なパルパーとは大きく異なります。

[1社のみで完結する「ハイセキュリティ&エコロジー」サービスの特徴]

当社でパルパー（溶解設備）を保有し、日本で初めて（当社調べ）機密文書処理専用カスタマイズしたことで、セキュリティを強化しました。また、パルパー処理後の紙媒体をリサイクル原料として直接供給することで、100%再利用することが可能となり、エコロジーを追求しました。

【セキュリティの強化】

お客様の機密情報は、

- ・お客様のオフィス（主に東京）から回収、当社工場（静岡）までの運搬、溶解処理、そしてリサイクル資源となるまで、認定専門スタッフ（社員）のみが対応
- ・機密専用車両（GPS・盗難防止装置を搭載）で認定専門スタッフ（社員）のみが対応し、当社工場（静岡）までノンストップ運搬
- ・回収後、人の手に触れることなく、機密専用投下マシンにより機密文書専用パルパーに直接投下
- ・当社保有の機密文書専用パルパーにより溶解処理で完璧に抹消し、復元不可能



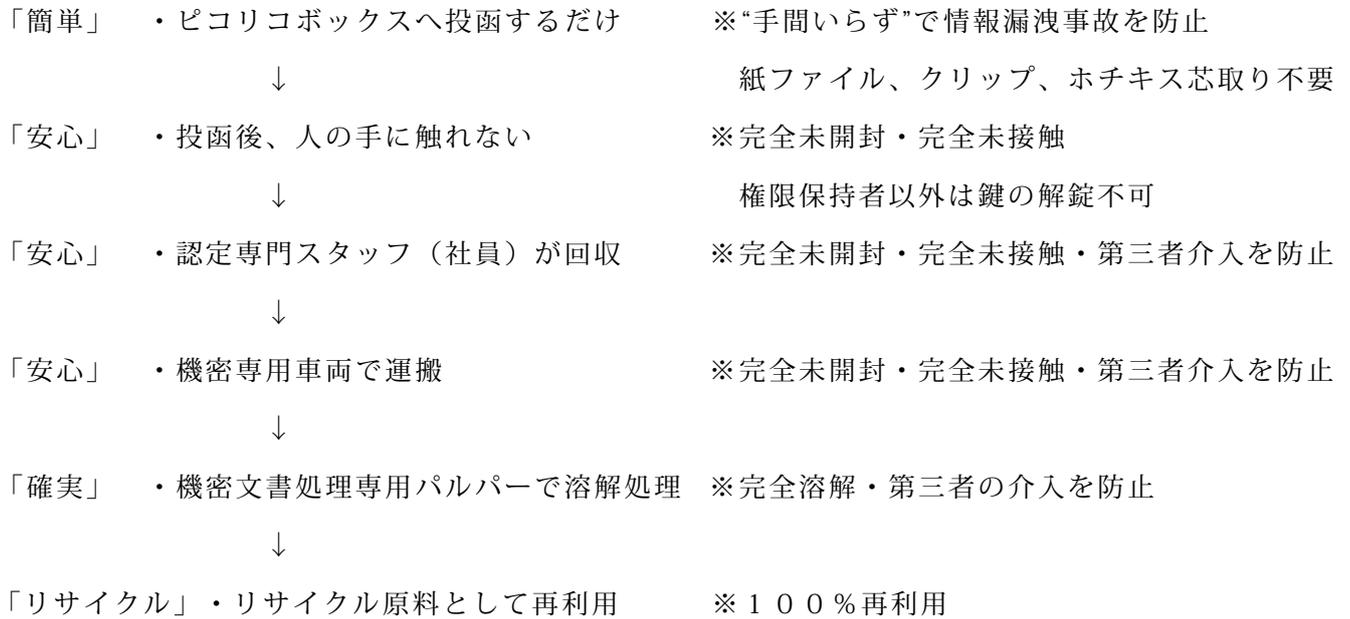
【エコロジーの追求】

- ・お客様の機密情報は、当社保有の機密文書専用パルパーにより溶解処理された後、リサイクル原料として100%再利用
- ・当社リサイクル原料は、併設するリサイクル商品製造ライン（グループ企業）へ直接供給できるため、原料生成からリサイクル商品までの工数を最小限にすることで、エネルギー削減や二次廃棄物を発生させない再資源化を実現



[セキュリティ・リサイクル・エコロジーを追求した「簡単」「安心」「確実」「リサイクル」の仕組]

完全未開封（※4）・完全未接触（※5）でお客様の紙媒体情報を完璧にガードし、当社溶解炉（※6）で完全溶解（※7）します。



- ※4 溶解処理直前にピコリコボックスを解錠（権限保持者以外は鍵の解錠不可）
- ※5 機密専用投下マシンにより人の手に触れることなく直接投下
- ※6 機密文書処理専用パルパー（機密文書処理専用カスタマイズ）
- ※7 紙媒体が判読不可能・復元不可能な状態かつリサイクル原料として再利用できる状態



[セキュリティ強度（機密性）&エコロジー貢献度]

シュレッダーに代わる、リパック溶解処理システム

	セキュリティ強度	エコロジー貢献度	作業工程数						
			1工程	2工程	3工程	4工程	5工程	6工程	7工程
① ゴミ箱へそのまま廃棄 セキュリティが曖昧	最弱	低	ゴミ箱 開封・取り出し可能	指定業者が 回収	一般車両で 運搬	焼却処理 他社で作業	一般車両で 運搬	二次廃棄物の 埋め立て	—
② シュレッダーで廃棄 セキュリティが曖昧 複数社のセキュリティ強度に依存	中	低	シュレッダー (ビニール袋) 開封・取り出し可能	指定業者が 回収	一般車両で 運搬	焼却処理 他社で作業	一般車両で 運搬	二次廃棄物の 埋め立て	—
	中	中				溶解処理 他社で作業	リサイクル原料へ	—	—
③ 一般的な破砕処理 複数社のセキュリティ強度に依存	中	中	ダンボール箱 開封・取り出し可能	指定業者が 回収	一般車両で 運搬	破砕処理 他社で作業	一般車両で 運搬	溶解処理 他社で作業	リサイクル原料へ
④ 一般的な溶解処理 複数社のセキュリティ強度に依存	中	高	ダンボール箱 開封・取り出し可能	指定業者が 回収	一般車両で 運搬	溶解処理 他社で作業	リサイクル原料へ	—	—
⑤ リパック溶解処理システム 全行程1社完結のハイセキュリティ	最強	高	ピコリコボックス 開封・取り出し不可	当社認定専門スタッフ (社員)が回収	機密専用車両で 運搬	溶解処理 当社保有の 機密専用溶解炉で作業	100% リサイクル原料へ	—	—

- ! 一般的にここまでが機密扱い!
- ! 一般的な産業廃棄物扱い!
- ! エコロジー対策!